



国際交流通信

Nov 8th, 2023 国際教育部 Vol.2

★学校説明会 in 星林高校★

10/14 (土)、中学3年生対象の学校説明会が開催されました。国際交流科2年H組の早川綾さんと松浦徹弥くんの司会



進行により、中学生と保護者や教員の方々あわせて約1000人に向けて、国際交流科と国際交流活動についてのプレゼンテーションを行いました。入学後すぐに行われる国際交流セミナーの様子を1年J組の前田蘭丸くんが、スペイン・ガリシア州からの訪問団との交流の様子を1年J組の藤田愛未さんが紹介しました。また第2外国語選択生を代表して、中国語は2年H組の村垣妃華子さん、韓国語は2年H組の中川和紀くん、スペイン語は3年G組の池島そよ風さんが、それぞれの言語で自己紹介や授業紹介をしました。

国際交流活動については、7/30~8/2に開催されたアジア・オセアニア高校生フォーラムに司会として参加した、3年A組の西亜紗実さんとB組の森橋優和さんが、討論の内容や17の国や地域を代表する高校生たちとの交流の様子を伝えました。また、7/11~16に実施されたタイ訪問研修旅行に参加した、1年J組の岩崎彩夏花さんと藤原希花さんが、カセサート大学附属高校への訪問の様子を紹介しました。そして、9月半ばからアメリカのノースダコタ州に1年間の長期留学に行っている3年F組の山口智美さんが、留学の様子の写真を届けてくれました。

♪菅田利佳さんの講演会♪

12月9日(土)メディアアートホール(県立図書館)で、5年前に星林高校を卒業した菅田利佳さんの講演会を開催します。「志と出会いを紡いで開く道~音楽と学びの力を信じて~」という演題で、ピアノの演奏を交えながら、高校生のみなさんに向けてお話してくれます。星林高校での思い出はもちろん、大学への道のりや現在の仕事の様子などのお話は、きっとみなさんそれぞれの、これからの励みや刺激になることと思います。現在各クラスで参加を受付中です。菅田さんには視覚障害があることは知っていますが、ぜひ菅田さんの温かい声と心に沁みるピアノの音を直接聞いてみませんか?



★タイ訪問研修★

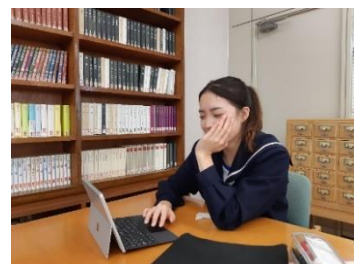
昨年度3年ぶりに受入を再開したカセサート附属高校との交流。今年度は7月に星林から15名がタイを訪問し、学校生活を体験したり、バディと一緒に食事や交流を楽しんだりしました。英語と日本語とタイ語を交えてのコミュニケーション、授業への参加、伝統衣装や異文化体験は、どれをとっても刺激のある充実した経験となりました。現在もSNSなどを通じて連絡を取り合う仲が続いていて、10月にカセサート附属高校が福井県の高志高校を訪問に来た際、帰りの関西空港に見送りに行き、バディ達との再会を楽しみました。タイ訪問研修の様子は、玄関ホールに展示しているパネルでも紹介しています。



♡留学生紹介♡

9月から1年G組で授業に参加している、藤本 Ward 花さんを紹介します。花さんは日本で生まれてまもなくイギリスに移りましたが、日本にも縁のある花さんは、日本の高校生活を体験するため、9月から12月までの4ヶ月間、星林高校に通うことになりました。花さんは現在、Mattnew Arnold school というイギリスの6th form(2年制の高等学校)の1年生で、帰国後は大学に進み、将来はフライトアテンダントになることを目指しているそうです。基本はG組の授業に参加していますが、図書館ではオンラインでイギリスの高校から出される課題に取り組み、帰国後の学習に備えているそうです。

ところで、イギリスの高校生は放課後、どんな風に過ごしているのか聞いてみました。日本の部活動とは違いますが、放課後の課外活動として、サッカー、ラグビー、ネットボール(女性向けのバスケットボール)、ドラマ(演劇)が人気だそうです。ドラマ(演劇)は授業科目にもなっている上に、習い事としても人気があるとのこと。花さんはというと、放課後は友達と買い物をしたりカフェに行ったりすることが多く、お気に入りのブランドはUrban Outfittersで、カフェはGREGGSが有名ですが、マクドナルドのほうが好きだそうです。帰国まであと2ヶ月ですが、星林高校でたくさんの思い出を作してほしいと思います。





～長期留学生からのメッセージ～
3年F組 山口智美さん

I have been interested in foreign countries since I was an elementary school student and wanted to study abroad someday. The reason I decided to study abroad in America was because I thought I would be able to learn authentic English on my first overseas trip. Studying abroad was not easy and required a lot of preparation. Even during test periods, I have to prepare for studying abroad; getting on a plane to Tokyo for orientation right after school and submitting assignments every month to keep up with English classes. Hard as it has been, I want to enjoy this year to the fullest.

It's been about two months since I came to America. At first, I had a hard time understanding the native speakers because they spoke so fast, and I felt mentally immature because the students my age were too mature. My family and I have traveled overseas several times, but since I was alone and there was no one around me who could speak Japanese, I was very nervous. Now that I'm used to it, I can have conversations with my teachers and friends without having to translate. My host family and schoolteachers have allowed me to experience many things that I would not be able to experience in Japan. Although my own will is important, I believe that I was able to study abroad because of the support of my family and teachers. It was hard to prepare, but if you have the opportunity to study abroad, I highly recommend you give it a try!!

今年の9月、文化祭が終わった頃、3年F組の山口智美さんが、アメリカのノースダコタ州にある Grant County High School へ、約1年間の長期留学に出発しました。ノースダコタはカナダに隣接した州ということもあり、10月というのに雪が積もって、学校が早く終わったり遅れて始まったりということがああるそうです。最近での最低気温は-15℃とのこと。そんな智美さんから、星林のみなさんに留学の紹介とメッセージをいただきました(左)。



【日本語訳】

私は小学生の頃から海外に興味があり、いつか留学したいと思っていました。アメリカへの留学を決めた理由は、初めての海外旅行先で本場の英語を学べると思ったからです。留学は簡単なことではなく、多くの準備が必要でした。テスト期間中であっても、留学の準備をしなければならず、学校が終わってすぐにオリエンテーションのため東京行きの飛行機に乗ったり、英語の授業についていくために毎月課題を提出したりとしなければなりません。大変だった分この1年を思いっきり楽しみたいと思います。

アメリカに来てから約2か月が経ちました。最初はネイティブの人の話すスピードが早すぎて理解するのに苦労して、同年代の子が大人すぎて自分の精神的な幼さを感じました。家族で何度か海外旅行に行きましたが、出発から1人で、周りに日本語がわかる人もいなかったのととても不安でした。今では慣れてきて、先生や友達と翻訳なくても会話ができるようになりました。ホストファミリーや学校の先生には日本では経験できないことをたくさん経験させてもらっています。自分の意志も大切ですが、家族や先生方のサポートがあったからこそ留学できたと思っています。準備は本当に大変でしたが、留学の機会があれば、みなさんもぜひ挑戦してください!

